

第8節 消 防 関 係

1 消防

(1) 常備消防

ア 消防総務一般事業

20,212,067 円

消防職員が業務を遂行するための基本的な勤務環境の整備及び充実を図った。また、広島県消防学校への派遣研修や必要な資格の取得などにより、職務能力の向上を図った。

(ア) 特定業務従事者等健康診断業務委託料

1,824,636 円

(イ) 職員の教育・研修等の実施状況

(単位：人)

	教育種別	参加人数	教育・研修等の目的
広島県消防学校	初任教育	2	新たに採用された消防職員及びこれに準ずる職員に対し、消防の使命と責務を認識させるとともに、消防に関する基礎的な知識・技術を修得させる。
	専科教育救助科	3	救助技術に関する知識・技術を修得させるとともに、困難で苛酷な状況下でも必ず救助するという不屈の精神力、旺盛な士気及び強靱な体力を養成する。
	専科教育救急科	1	救急隊員の資格を取得させるとともに、さらに高度な応急処置等に必要の専門的な知識・技術を修得させる。
	専科教育予防査察科 (防火査察課程)	1	防火査察に関する知識・技術を修得させるとともに、予防技術検定(防火査察)の受検資格を取得させる。
	専科教育予防査察科 (消防用設備等課程)	1	消防同意、消防用設備等に関する知識・技術を修得させるとともに、予防技術検定(消防用設備等)の受検資格を取得させる。
	専科教育警防科	1	防災関係法令の専門的知識、災害対策に関する知識、各種災害事象に対する基本的消防戦術、災害現場において適切・効果的な指揮ができる知識・技術を修得させる。
	幹部教育初級幹部科	1	初級幹部(主として消防司令補級)としての責務、事務管理・指導能力等に関する知識・技術を修得させる。
	特別教育ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習	2	救急現場において、気道確保法としてのビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管法を的確かつ安全に施行でき、事故発生時に適切に対処できる技術を修得させる。

【令和5年度への繰越分】

(単位：円)

概 要	事 業 費
消防職員貸与被服(防火衣一式)の購入	598,000

イ 消防庁舎等維持管理事業

45,661,540 円

(ア) 廿日市消防署、西分署、佐伯消防署、大野消防署及び宮島消防署各庁舎の安全性、利便性の向上及び良好な執務環境を確保するため、維持管理を行った。

消防庁舎維持管理業務委託料

9,091,470 円

(イ) 消防職員の新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、寝具類のリースを追加し、寝具を共用しないことによる感染予防効果により、消防署職員間の感染拡大を防ぐことができた。

消防職員用寝具類賃借料

4,722,710 円

ウ 消防通信施設維持管理事業

49,061,492 円

詳細な災害状況をリアルタイム映像で判断し適切な消防力を現場へ投入できるよう、通報者のスマートフォンから現場の位置情報や映像を確認できる「Live119」のシステムを活用した。また、聴覚や発話に障がいのある人が簡単な操作で音声を要しない緊急通報ができる「NET119」のシステムを運用した。

サービス利用料

1,386,000 円

エ 吉和地域消防事務委託負担金

19,213,277 円

吉和地域の消防体制の確保を図るため、「消防事務の一部の事務委託に関する規約」に基づき、広島市に委託している消防事務に要する経費を負担した。

オ **予防活動事業** 1,290,013 円

市民に対し、火災予防の普及啓発を推進し、防火意識の高揚を図った。また、事業所に対し、防火対象物並びに危険物施設等の位置、構造、設備及び管理状況等に関する指導強化を図り、火災予防対策を推進した。

カ **救急活動事業** 9,941,621 円

市民の健康や安心を守る救急活動を行うため、救急救命処置で使用する消耗品及び資機材を購入して救急活動を維持するとともに、最善の救急医療と現場活動を提供するため、救急隊員用訓練用資機材を整備して訓練を実施し、救急隊員の技術向上の効果があつた。

(ア) 救急活動用消耗品 3,320,627 円

(イ) 救急活動用備品購入費 1,590,600 円

(ウ) 新型コロナウイルス感染症に対応した救急活動を行うため、感染防止資機材及び消毒用資機材を配備して感染防止と消毒の徹底に努めたため、感染リスクを低減した救急活動が実施できた。

救急活動用消耗品（感染防止資機材） 3,500,780 円

キ **救急救命士育成事業** 5,974,720 円

救急医療体制の充実を図るため、救急救命士の養成、現任の救急救命士の再教育等を実施した。

(単位：人)

概 要	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
救急救命士養成	2	2	2
指導救命士養成	-	-	1

ク **消防資機材等管理事業** 11,559,151 円

火災や水難に加え、近年増加している風水害等に対応するため、消防用ホース、潜水活動用資機材等を更新し、人命救助に必要な土砂風水害対策資機材を配備することで、複雑多様化する災害に対する体制強化を図った。

土砂風水害対策資機材購入費 1,262,800 円

消防資機材購入費 5,250,476 円

ケ **消防ポンプ自動車整備事業（常備）** 41,600,410 円

複雑多様化する災害に迅速かつ的確に対応するため、平成 15 年度に佐伯消防署に配備した車両を更新し、故障等の不測の事態を未然に防止した。

(単位：円)

概 要	対 象	数 量	事 業 費	うち補助対象事業費
消防ポンプ自動車購入	佐伯消防署	1	41,600,410	0

コ **災害対応多目的車整備事業** 10,144,590 円

複雑多様化する災害に迅速かつ的確に対応するため、平成 11 年度に廿日市消防署に配備した車両を更新し、故障等の不測の事態を未然に防止した。

(単位：円)

概 要	対 象	数 量	事 業 費	うち補助対象事業費
災害対応多目的車購入	廿日市消防署	1	10,144,590	0

(2) 非常備消防（消防団）

ア **消防団活動運営事業** 103,115,828 円

消防団は、消防署と共に市民の生命、身体及び財産を各種災害から守るため、火災の予防と各種災害による被害の軽減、防止活動を行った。また、消防団の施設、組織の充実を図るとともに、各種教育訓練を通して、消防に関する高度な知識の修得と技術の向上を図った。

(ア) 消防団員の教育・研修等の実施状況

a 特別教育訓練指導員科（県訓練指導員）

県訓練指導員 4 人が、消防団員の防災技術の向上を図るため、教育訓練の指導に要する知識・技術を修得するため、広島県消防学校へ入校した。

b 特別教育訓練指導員科（市町訓練指導員）

副分団長 1 人及び班長 6 人が、消防団員に必要な訓練礼式及びポンプ操法の指導者としての必要な知識・技術を修得するため、広島県消防学校へ入校した。

- c 幹部教育上級幹部科
副団長2名が、消防団の上級幹部として、組織の管理及び消防団活動に必要な知識・指導力・統率力を習得するため、広島県消防学校へ入校した。
- d 幹部教育指揮幹部科（分団指揮課程）
分団長1名及び班長1名が、消火・救助・避難誘導・災害情報収集伝達等の現場指揮者としての知識・技術を習得するため、広島県消防学校へ入校した。
- e 幹部教育初級幹部科
分団長1名及び班長2名が、班長級の消防団員として必要な知識、技術を習得するため、広島県消防学校へ入校した。
- f 機関科
分団長1名及び班長3名が、消防用車両等の運用及び消防ポンプの運用に必要な知識・技術を習得するため、広島県消防学校へ入校した。
- g 特別教育一日入校
団員2名が、消防団員に必要な基本的な知識・技術を習得するため、広島県消防学校へ入校した。

(イ) 消防団員数の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
消防団員数（人）	601	607	590	593	555

(各年度3月31日時点)

- (ウ) 消防団員の訓練実施状況
訓練を年間224回行い、延べ4,225人参加した。

(エ) 消防団員の年額報酬・出動報酬等支払状況

- a 年額報酬 21,463,633 円
 - b 出動報酬等 30,541,500 円
- (オ) 広島県消防協会廿日市支部補助金 4,083,000 円

イ **小型動力ポンプ付積載車整備事業** 11,282,850 円

平成11年度に第2分団（森宗）に配備した小型動力ポンプ付積載車を更新した。

(単位：円)

概 要	施工箇所	数 量	事 業 費	うち補助対象事業費
小型動力ポンプ付積載車	第2分団（森宗）	1	11,282,850	0

ウ **指揮車整備事業** 7,671,771 円

平成7年度に第10分団（市垣内）に配備した指揮車を更新した。

(単位：円)

概 要	施工箇所	数 量	事 業 費	うち補助対象事業費
指揮車	第10分団（市垣内）	1	7,671,771	0

(3) 消防施設

ア **消防水利施設整備事業** 26,557,300 円

耐震性貯水槽（40t）を設置した結果、防災機能強化が図れた。

(単位：円)

概 要	数 量	事 業 費	うち補助対象事業費
岩組会館防火水槽（耐震性貯水槽）設置工事	1	11,480,700	0
吉和支所防火水槽（耐震性貯水槽）設置工事	1	9,026,600	0
筏津地区防火水槽（耐震性貯水槽）設置工事	1	6,050,000	0

イ **消防庁舎整備事業** 20,320,327 円

佐伯消防署の敷地・施設の狭隘化及び老朽化等の課題を解消し、防災拠点施設としての機能強化を図るため、佐伯消防庁舎の移転・建替整備を令和3年度から令和6年度までの4か年で行う。令和4年度は、令和5年度からの新築工事に向けて実施設計等を行った。

(単位：円)

概 要	施工箇所	事 業 費	うち補助対象事業費
佐伯消防署整備工事実施設計業務委託料	津田	20,133,327	0

(4) 防災

ア 防災一般事業

28,584,420 円

- (7) 災害発生時に迅速かつ的確に行動できるように、災害対策本部職員を対象とした図上訓練や、避難所運営職員及び自主防災組織等を対象とした避難所運営訓練を実施し、災害対応に関する知識や技能等を習得した。
災害対策本部運営訓練実施業務及び避難所開設・運営訓練実施業務委託料 1,400,300 円
- (4) 災害対応力を向上させるため、災害対応等の専門的な知見が高い団体から本市の災害対応力に資するアドバイスや改善策の提案、他市町の優良事例等の提示を受けた。
防災アドバイザー業務委託料 1,306,250 円
- (6) 水防法の改正に基づき、広島県が想定最大規模降雨の浸水想定区域を指定した。この指定に伴い市では、住民の避難行動につながる情報の提供や、被害を最小限にとどめることを目的とした「廿日市市洪水浸水ハザードマップ」を作成し、関係する市民に配布した。
洪水浸水ハザードマップ作成業務委託料 15,844,400 円
- (5) 追加指定した避難所（佐方会館、etto宮島交流館、フジタ スクエア まるくる大野、廿日市市吉和ふれあい交流センター）に施設名や対応する災害種別などを記載した看板を設置した。
避難所看板設置工事 1,089,000 円

イ 自主防災活動推進事業

5,802,404 円

- (7) 出前トーク等の実施
地域防災の専門的な知識を有した職員を2名配置し、自主防災組織や市民からの防災に関する相談へのアドバイスや出前トークにより、地域の自主防災組織活動を支援した。また、児童・生徒を対象とした防災教育等を実施し、子どもたちの防災意識向上を図った。

出前トークの実施状況

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施回数(回)	26	12	36
参加人数(人)	715	446	981

防災教育の実施状況

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施回数(回)	23	19	17
参加人数(人)	3,481	2,494	2,133

(4) 防災リーダーの養成

地域の自主防災活動のリーダー的な役割を担う人材（防災士）を養成した。集中豪雨や地震などの自然災害に対する市民の防災意識の醸成と地域の防災力の強化を図るため、防災士養成研修事業を実施した。

防災士養成講座研修負担金等 1,920,000 円

養成状況

(単位：人)

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	累計
養成人数	中止	47	42	243

※ 令和元年度までに防災士の資格を有し、地区の自主防災組織で活動する防災士は154人

(6) 自主防災組織補助金

自主防災組織活動を支援するため、補助金を交付した。

自主防災組織 26 団体 2,628,000 円

(5) 宝くじコミュニティ助成事業（地域防災組織育成助成事業 区分ア）

一般財団法人自治総合センターが宝くじの普及広報を目的として募集するコミュニティ助成事業を活用し、地区の自主防災組織が取り組む事業に対し支援を行い、地域防災力の強化を図った。

自主防災組織 1 団体 1,200,000 円

ウ 応急物資管理事業

4,866,007 円

避難所の生活環境を整えるため、食糧、毛布、簡易ベッド等の応急備蓄物資を購入した。

消耗品費 3,300,073 円

エ 防災情報システム管理事業

56,306,691 円

- (7) 土砂災害、洪水、高潮、津波等の災害リスクのある区域のデータを統合型地理情報システム（GIS）へ登録するとともに、避難行動要支援者の早期避難を促すため、避難行動要支援者を含む要配慮者の所在データを更新した。

GIS機能強化業務委託料 825,000 円

- (イ) 公共施設の建替えや移転等に伴い、敷地内に設置していた防災行政無線の移設工事を実施した。

防災行政無線設備移設工事【黒折】 4,895,000 円

防災行政無線設備移設工事（その2）【佐方及び大野】 8,042,100 円

【令和5年度への繰越分】

(単位：円)

概 要	施工箇所	事業費	うち補助対象事業費
工事請負費			
防災行政無線設備整備工事	吉和	3,300,000	0

オ 防災情報収集事業

496,566 円

防災・減災対策として、佐方川及び毛保川の水位状況を把握した。

事務費（電話料外） 496,566 円